

くにたち classo 通信 vol.17 Aug 2016 ●●●

住み慣れた地域や自宅で豊かに暮らし続けるための
交流・支え合いの居場所づくり



発行: 向こう三軒両隣@くにたち
発行人代表: 新井和雄
〒186-0002 国立市東 2-27-11
電話 042-572-9786
FAX 042-576-4641

ご参加ありがとうございました! ~「ふらっとカフェ」6・7・8月

「住み慣れた国立でずっと暮らしたい」というテーマで不定期に開催してきた懇談会を発展させる形で、誰もが気軽に立ち寄れる居場所「ふらっとカフェ」を、毎月第一日曜日の午後を始めました。

6、7、8月は、市の健康福祉部を訪問した際の報告、介護の専門家のお話し、団地での多世代交流の取り組みといった内容で、毎回11~12名が参加されました。ありがとうございました。

詳細は次ページ

第一日曜日は「ふらっとカフェ」 ~お気軽にお立ち寄りください~



引き続き9、10、11月の第一日曜日の午後を開催しますので、ふらっとお立ち寄りください!



※「くにたち安立」東脇の電信柱右手の道を入れて、突き当りのえんじ色のドアをお入りください。

日時: 9月4日、10月2日、11月6日(日) 午後2時~4時

場所: くにたち安立(東2丁目18-2)

参加費: お飲み物1杯100円(コーヒー、紅茶、緑茶)

当日の連絡先: 070-5011-5883(原田)



「ふらっとカフェ」コラム

何か地域でできることは？（6月5日のふらっとカフェより）

「福祉のために」と市に土地が寄贈されてから3年以上経つにもかかわらず、計画が進展する様子がないことに、地域のみんなでできることはないのだろうかという話になりました。

介護施設は本人が見極めることが大切（7月3日のふらっとカフェより）

介護の専門家に、在宅サービスと施設サービスの違いといった入門的なお話から、小規模多機能型居宅介護施設に登録した利用者にとってどのような過ごし方が想定されるのかといった具体的なお話を伺いました。実際に足を運び、いろいろ話を聞いて自分に合うかどうかご本人が見極めることが大切というアドバイスも頂きました。

また、参加された方からは、（地域住民としては）早く東二丁目の寄贈地に、小規模多機能居宅介護施設と地域交流スペースができてほしいという期待の声が多数出されました。

ご近所で気軽に話をできる場があると安心（8月7日のふらっとカフェより）

団地での多世代交流の取り組みを紹介した録画を観て、感想を話し合いました。お一人おひとりの感想や、自己紹介のエピソードをきっかけに、話が盛り上がりました。介護の話題については、近くに話をしたり相談したりできる場が出来れば安心というご意見に、みなさん深くうなずいていました。また、挨拶だけでなく、もう少しお互いに顔の見える関係を築くことが出来れば、地域の安全や安心につながるのでは、といった意見が出されました。



メールのあて先はこちらまで

mukou3ken@gmail.com

活動情報はブログをご覧ください

<http://mukou3ken.seesaa.net/>

サポーター会員募集！ 情報を直接お届けします(年会費 500 円)